

(英語版)

(アラビア語版)

(目次)

見果てぬ平和 ― 中東の戦後75年 (百五十六)

第六章 現代イスラームテロの系譜 (十一)

百五十六 世界を震撼させた9・11同時多発テロ (三―四)



2001年九月十一日朝、ボストン発ロスアンゼルス行きアメリカン航空十一便が午前八時十四分にハイジャックされた。犯人は操縦桿を握り進路を南に変更、八時四十六分にニューヨーク・世界貿易センタービルの北棟に突入した。市民たちは最初何が起こったのか理解できず、小型機が操縦を誤って衝突したとばかり思った。ところがアメリカン航空十一便の直後に同じ空港から同じ目的地に向かったユナイテッド航空175便が同じようにハイジャックされ、後を追うような形で貿易センタービルの南棟に突入、最初の事件を報道していたテレビニュースがその瞬間の有様を中継したことによりニューヨーク市民だけでなく世界中の人々がライブ映像で目撃することとなった。実に信じがたい光景だったのである。これにより人々は尋常ならざるテロ事件であることを理解した。

事件はこれだけではなかった。ワシントン発ロスアンゼルス行きアメリカン航空77便もハイジャックされ、こちらは九時三十八分、国防総省本部（建物が五角形の星形であることからペンタゴンと通称される）に激突した。さらにニューアーク発サンフランシスコ行きユナイテッド航空93便が九時二十七分に乗っ取られたが、こちらは貿易センタービルの事件を知った機内の乗客がハイジャックを阻止しようとしワシントンの北西240KMの地点で

地上に激突した。時間は午前十時三分。犯人はホワイトハウス或いは国会議事堂への突入を狙っていたものと推測される。四機同時ハイジャックによるテロ事件は死者3千人、負傷者六千三百人という史上最大の惨事となったのである。

(続く)

荒葉 一也

E-mail: Arehakahazuyal@gmail.com